

8月11日  
土曜日  
2001年  
(平成13年)  
16:00

# 為末 銅

日本新47秒89

世界陸上

11日「8日」カナダ・エドモントン  
男子400メートル障害の決勝で、為末大（23歳）が自らの記録を更新する47秒89で銅メダルを獲得した。男子短距離・障害種目での日本選手メダル獲得は、五輪、世界選手権を通じて史上初の快挙。ラスト40メートルでの激しい3位争いを制しゴール、順位を確認しガッツポーズした。

優勝は47秒49のフェリックス・サンチェス（ドミニカ共和国）、2位はイタリア新記録の47秒54を出したファブリツィオ・モリだった。

為末「最後横一線だったので運が良かったです。昼メシのうどんが効いたのでは...。決勝は純粹に走れました」

男子400メートル障害で銅メダルを獲得した為末大は、日の丸を背に広げ満面の笑みを見せた。下の写真は「右」力走する為末（「中」ゴールする（左から）1位のサンチェス、2位のモリ、3位の為末大、「左」優勝したサンチェス（中央左）、2位のモリ（右）と肩を組みポーズをとる為末大（写真は共同）

## 身長169センチの男が日本男子トラック史上初の世界のメダル



ゴール直前抜き返す